

学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクト

岡山大学「体験せにゃあ大変じゃ」

～ 体験型防災施設における

効果的な防災教育の推進プロジェクト ～

最終報告

メンバー： 太田 麗 木崎 達也 中村 結菜
 難波 弥風 劉 清伊 藤本 健瑠

令和8年 2月 14日（土）

岡山市消防教育訓練センター

水難救助訓練施設 風水害体験エリア





ビデオ視聴によるミニ講義

流水歩行体験



水圧自動車ドア体験



水圧ドア体験



風雨体験



マイ・タイムライン作成
ふりかえり

体験時間 1時間30分

※体験パートの順番はグループによって異なる

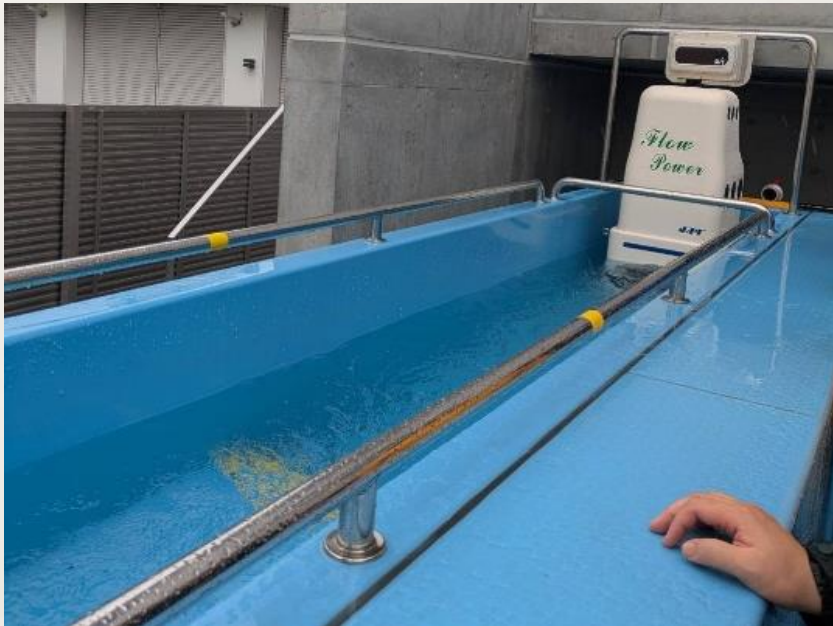


危険性を感覚的に理解できるが、
体験のリアリティ（災害状況との近さ）が不足している？

手すりを持って
流れのある
透明な水の中を歩く

ギャップ

実際は濁った水で
漂流物等が存在する



体験を
「楽しかった」
「歩けた」
で終わらせず……

体験と災害状況との差を
補完する必要がある！



マイ・タイムラインを書くときに
自分の置かれている状況が
想像しにくい…

本当に避難が必要？

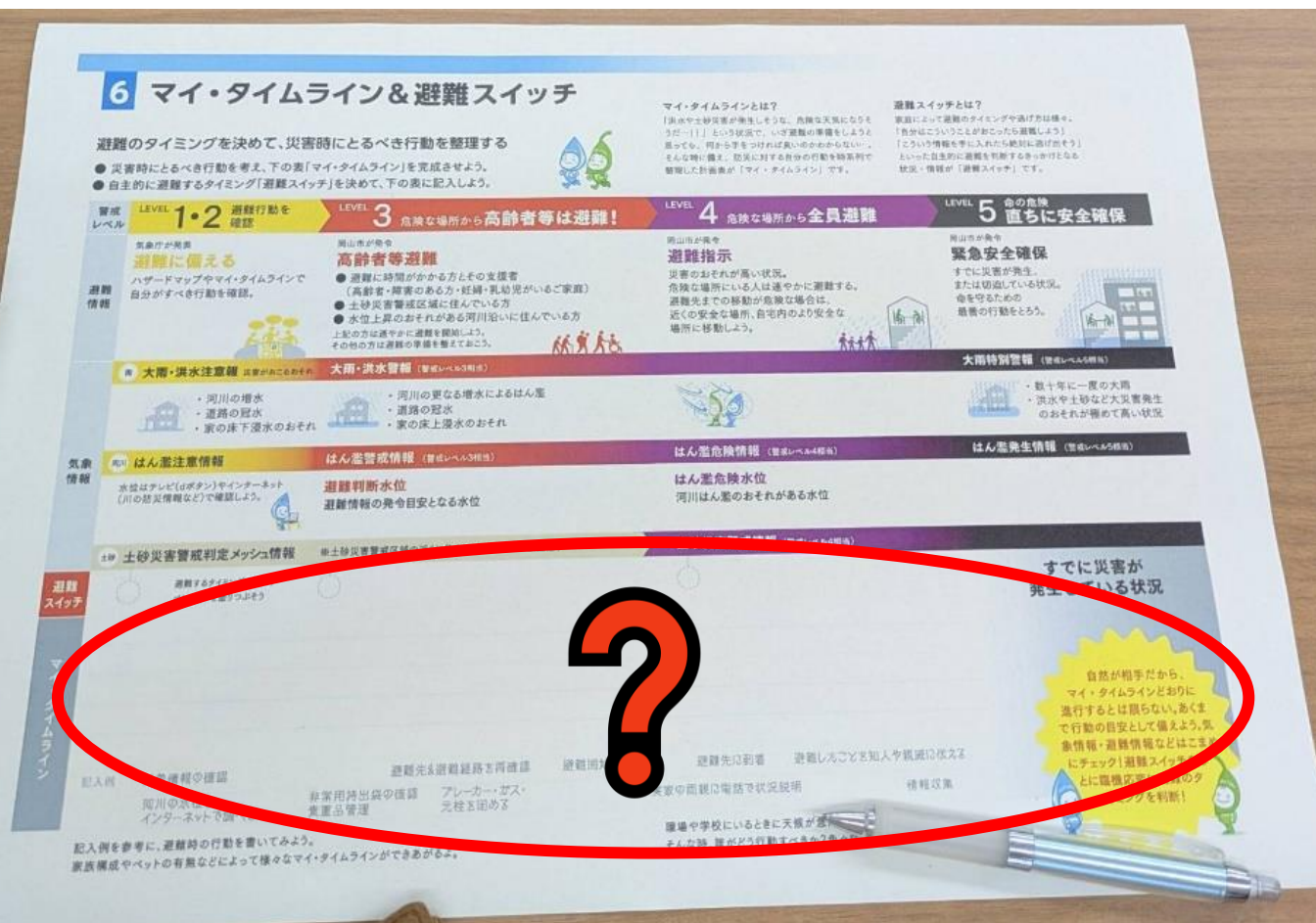
誰と一緒にいる？

避難場所はどこ？



災害リスクへの関心 ○

イメージするための要素 △



大型パネル

小型パネル

へいせい ねん がつ ごう へいせい ねん がつ ごう
平成30年7月豪雨のときの平島地区

りゅう すい ほ ごう たい けん へい せい ねん がつ ごう
流水歩行体験と平成30年7月豪雨のときをくらべてみよう！

ひがしく ひらしま ちく いっぱい
～東区・平島地区～

しんすい じょうきょう
コンビニエンスストアの浸水状況



じっさい
実際はどんな
感じなのかな？



どうろ じょうきょう
道路の状況



～色の違い～
水がにごっていて
足元がよく見えない…

じゅうたくがい じょうきょう
住宅街の状況



～流れているモノの違い～
木片やごみが流れている
当たってけがをするかも…

～身の回りの違い～
つかまるところは
どこにもない



用水路

～見えないキケン～
にごった水で用水路が
見えなくなることがある
もし、足を踏み入れたら…



従来型



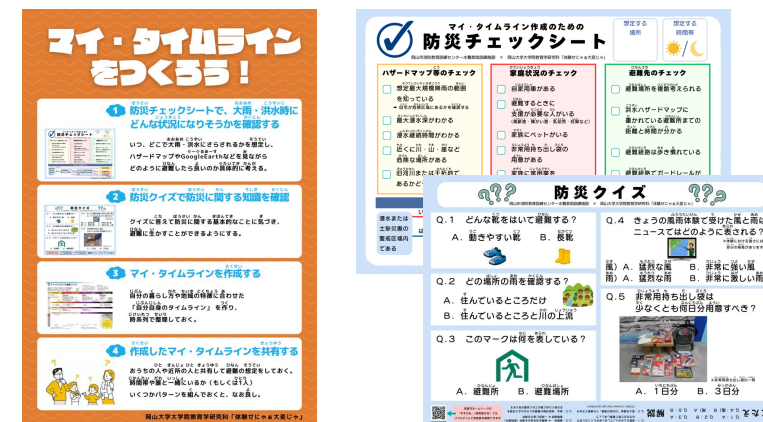
提供 岡山市消防局

被災状況の想像力 ○

解説パネル



被災状況の想像力 ○

マイ・タイムライン
補助資料

災害の危機感 ○
被災状況の想像力 ○
脅威アピール ○

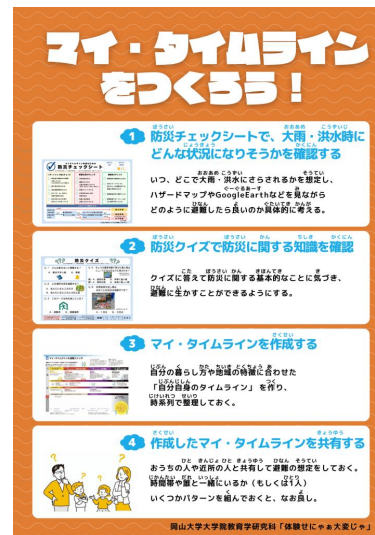
解説パネル



施設で継続利用 ○

体験中の指導言によっては
より効果的に！

マイ・タイムライン補助資料



施設で継続利用
他施設での利用
学校の学習ツール ○ ○ ○



マイ・タイムライン補助資料

- 説明がしやすくなった
- 指導員の発言内容のばらつきを減らすことができた
- 補助資料の必要性を感じるきっかけになった
もっと様々な補助資料を上手く使っていきたい

解説パネル

- 参加者にリアリティをより感じてもらえたのではないかな
- 災害時の説明もパネルを見てもらうことで細かく言わなくても伝わった
- 「流水歩行体験」以外の体験コーナーでもぜひ作ってほしい
- 施設として体験のリアリティをより高めるきっかけになった





ご清聴ありがとうございました！